

「関西のインフラ強化を進める会」開催報告

(一社)近畿建設協会

近畿建設協会では公益事業の一環として第22回委員会「関西のインフラ強化を進める会」を2024年9月2日に大阪キャッスルホテルにおいて開催しました。今回は、和歌山県田辺市長 真砂氏、一般社団法人東京建設業協会 会長 飛鳥建設株式会社 代表取締役社長 乗京氏に、「世界遺産熊野古道の魅力」、「建設業の抱える問題と将来」をテーマに、田辺市、飛鳥建設におけるそれぞれのお取り組みと現在の課題、今後の施策等についてご講演いただきました。

委員名簿 (R6.8.1時点)

委員長	小林 潔司	京都大学経営管理大学院 特任教授
委員	池田 豊人	香川県 知事・(公社)土木学会 理事
委員	井戸 智樹	(一社)世界文化遺産地域連携会議 世話役
委員	井上 智夫	西日本旅客鉄道(株) 建設工事部 技術顧問
委員	岩城 宏幸	近畿運輸局長
委員	植田 雅俊	阪神高速道路(株) 取締役兼執行役員
委員	上村 多恵子	京南倉庫(株) 代表取締役社長
委員	魚谷 憲	近畿地方整備局 副局長(港湾)
委員	小河 保之	(株)URリンケージ 西日本支社 参与
委員	神田 彰	(公社)関西経済連合会 理事
委員	後藤 貞二	西日本高速道路(株) 代表取締役専務執行役員
委員	佐藤 道彦	大阪公立大学大学院 都市経営研究科 実務型専任教授
委員	清水 喜代志	西日本旅客鉄道(株) 建設工事部 技術顧問
委員	正司 健一	国立大学法人神戸大学 名誉教授
委員	田井東 一宏	産経新聞大阪本社 事業開発室長
委員	多田 稔子	(一社)田辺市熊野ツーリズムビューロー 会長
委員	田中 清剛	(公社)2025年日本国際博覧会協会 副事務総長
委員	土井 典	関西広域連合 本部事務局長
委員	東川 直正	(公社)2025年日本国際博覧会協会 副事務総長
委員	橋爪 紳也	大阪公立大学研究推進機構 特別教授
委員	長谷川 朋弘	近畿地方整備局長
委員	藤本 貴也	JAPIC 国土・未来プロジェクト研究会 委員長
委員	森岡 武一	大阪府 副知事
委員	山田 忠史	京都大学経営管理大学院 教授
委員	若林 陽介	公益社団法人 全日本トラック協会 理事長
事務局	谷本 光司	(一社)近畿建設協会 理事長
事務局	山林 佳弘	(一社)建設コンサルタンツ協会 近畿支部長



▲真砂 充敏氏



▲乗京 正弘氏

第22回委員会 議事次第

◆基調講演 I

『世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」登録20周年を迎えて』

和歌山県 田辺市長 真砂 充敏氏

◆基調講演 II

『「トビシマ」の取組 ～建設業の将来を見据えて～』

一般社団法人 東京建設業協会 会長

飛鳥建設株式会社 代表取締役社長 乗京 正弘氏

第23回委員会「関西のインフラ強化を進める会」

日時：2024年12月9日(月) 17:20～19:00

場所：大阪キャッスルホテル7F

「関西のインフラ強化を進める会」開催報告

乗京飛鳥建設社長ら講演 関西のインフラ 強化を進める会

国や自治体、経済界、学識者ら関西の産学官で経済活動や防災・減災対策、観光振興に欠かせないインフラ整備について考える「関西のインフラ強化を進める会」（委員長・小林潔司京都大学経営管理大学院特任教授）は2日、大阪市内で第22回会合を開いた。写真。

会議の冒頭、小林委員長があいさつした後、「世界遺産『紀伊山地の霊場と参詣道』登録20周年を迎えて」をテーマに真砂充敏和歌山

県田辺市長が講演。世界遺産登録後の観光の現状や課題、熊野古道の素晴らしさなどを紹介した。

続いて飛鳥建設の乗京正弘社長が「『トビシマ』の取り組み」建設業の将来を見据えて」をテーマに講演した。自身が建設業を志した理由や飛鳥建設で携わったダム建設工事のエピソードなどを披露しながら、「時代によって変えるべきものは変えていくが、創業当初から理念『利他利己』の精神は変えてはならない」と強調。建設業界が抱える問題として「年齢構成がいびつであり、若手社員がいづまでも同じ仕事を強いられる。他産業に比べてデジタル化が遅れ、営業スタイルも古い」などと指摘した。さらに、機構改革や飛鳥ホールディングス設立の経緯にも触れ「建設業の真の価値は土木や建築といった技術だけでなく、多くの人の多様な関係を調整しながら一つの事業としてコーディネートすることだ」と締めくくった。

